

ノーベル物理学賞受賞者

梶田 隆章氏

講演会

3/15
(日)
15:00-16:30

場 所 みんなの森 ぎふメディアコスモス 1F ドキドキテラス

観覧方法 椅子150席は、14:00開場、先着順。
その他、立ち見は観覧自由。

観覧料金 無 料

(講演会における注意事項)

- ・写真や動画の撮影は禁止させていただきます。
- ・予定時刻より終了が早まる場合がございます。
- ・講演者へのサイン依頼等はお断りさせていただきます。

略 歴

1959年、埼玉県東松山市生まれ。
東京大学宇宙線研究所長・教授。
東京大学宇宙線研究所助手、助教授を経て現職。
岐阜県飛騨市の神岡鉱山の地下1000メートルに設置された実験装置
「カミオカンデ」と「スーパーカミオカンデ」を使った実験に参加した。
最も小さいと考えられる素粒子のひとつのニュートリノについて、
地球の大気で生まれた大気ニュートリノを観測。
移動中に粒の種類が変わる現象「ニュートリノ振動」を観測して
ニュートリノに質量があることを発見し、1998年の国際会議で発表した。
「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」により、
2015年にノーベル物理学賞を受賞した。
現在は、大型低温重力波望遠鏡KAGRAのリーダーも務める。

講演内容

『神岡での研究 — ニュートリノと重力波 —』



主催：みんなの森 ぎふメディアコスモス自主事業実行委員会
共催：岐阜市

(提供：東京大学宇宙線研究所)

